



社会福祉法人健翔会

新年のご挨拶

令和5年(2023年)1月20日 理事長 渡辺 弘

健翔会 法人本部
2022年の報告
2022年3月 理事会
次年度予算審議
当年度補正予算審議

2022年5月 監事監査
2022年5月 理事会
前年度決算審議

2022年6月 評議員会
前年度決算承認

2022年6月 臨時理事会
新事業設計監理業務審議

2022年9月 臨時理事会
新事業工事請負契約締結

2022年11月 理事会
就業規則の改正
事業活動経過報告
予算執行状況報告

2023年3月 理事会
次年度予算審議
当年度補正予算審議

2023年5月 監事監査
2023年5月 理事会
前年度決算審議

2023年6月 評議員会
前年度決算承認

2023年11月 理事会
中間報告



2022年12月
クリスマス会(麦の穂・大地)を
観覧する理事長(前列左)



2022年4月1日
通所セレモニーにて

コロナ禍でしたが、新しく大地の利用開始された3名のご利用者を迎え入れるセレモニーを開催しました。新しいご利用者の人生、ご家族の人生についての節目になる日であると話された渡辺理事長。

新年のスタートに当たり、ご利用者(児)の皆様、ご家族の皆様、そして役職員の皆様に年頭のご挨拶を申し上げます。

私の住む埼玉県行田市では雲一つない晴天となり、初日の出がとてもきれいでした。私は数年前よりひざを痛め、長距離を歩くのが難しいこともあり、近くにある行田市で一番高い陸橋で初日の出を望みました。最近はこの陸橋が初日の出を見る人がたくさん集まって来ます。

行田市は平坦で「坂のない街」としても有名です。なので、高い場所というと、丸墓山古墳、古代蓮タワー、利根大堰、そして自宅前にある陸橋です。

初日の出を見て、今年1年の考えを整理し、どう行動するか、気持ちを固めるきっかけになりました。

毎年のことですが、箱根駅伝をテレビで鑑賞しながら声援、息子、娘の夫婦、親戚など家族が集まり大きな声で笑えた三元日。健康の大切さを改めて実感した令和5年。

膝は痛いですが身体を動かしながら体調を整えて盤石な年にしたいと思います。

2022年(令和4年)の地域・国内の出来事



2022年も新型コロナウイルス感染症が常に話題の中心にありましたが、2022年は何といっても安倍首相が銃弾に倒れ亡くなったことです。現役の総理大臣です。そんな重要人物の警護がどうしてこんなに手薄なのかと驚きました。平和ボケなのか、銃で殺害されるなんてありえないというバイアスがかかっていたのでしょうか。国葬では海外要人を含む4200人が参列したそうです。

11月にはワールドカップが開催されました。森保一監督率いる日本代表は、強豪のドイツ、スペインを撃破し、日本中を熱狂の渦に巻き込みました。初の8強入りはなりませんでしたが、日本サッカーが進化していることを示しました。

春のGWを前に北海道の知床観光船「カズワン」が沈みそうだという通報を最後に消息を絶ち、乗員乗客26名の命が奪われました。天候の悪化もあったようですが、ずさんな安全管理が問題だと思いました。

2月には冬季オリンピックが開催され最多となる18個のメダルを獲得しました。若人だけでなく熟年の選手もメダル獲得し、選手層の厚さを感じました。

秋には日米の金利差拡大を背景にドルを買って円を売る動きが優勢となり、円相場が1ドル=150円台まで下落しました。前年からのロシアのウクライナ侵攻による資源の高騰に加えた円安で、食品の値上げが止まらない状況が続いています。

話題に事欠かない2022年。ワールドカップ、冬季オリンピックなどスポーツで日本の活躍が目立った反面、安倍首相の銃撃、カズワンの沈没と、安全管理の重要性を再確認した1年でした。

2022年（令和4年）の健翔会を振り返る



2022年5月
理事会にて前年度決算状況を報告する理事長



2022年10月
にじいろ新築工事の落札企業株式会社エルアンドビー様と調印式を行う。(左 理事長)



2022年11月
理事会を開催、にじいろ工事の着手などを報告する。(奥右 理事長)

健翔会の事業紹介

障害福祉サービス事業

生活介護 麦の穂
生活介護 大地
相談支援センター くじらぐも

障害児通所支援事業

放課後等デイサービス にじいろ

障害児(者)生活サポート事業

生活サポート麦

障害児(者)日中一時支援事業

大地 ・ にじいろ

収益事業

太陽光発電事業

その他事業

地域生活応援事業
埼玉県民あんしん発電事業

2022年は前年からの我慢を糧に新しいことへの挑戦を行いました。特に念願であったにじいろの新築工事への着手は感慨深いものがあります。既存の施設では狭いため移転させてあげたいが、土地が見つからない日々。県や国の補助金では申請や結審に時間がかかりすぎて対応できないなど、悶々としていました。

ようやく、土地が見つかって動き出しましたが、今度はウクライナ侵攻からの原材料高、円安などが重なって建設コストが爆上がり、関係企業20社以上による入札を実施いたしました。建設予算を大幅に上回ってしまいました。落札者なし、再入札においても落札者なしとなり、大きく落ち込み



ました。その後、設計監理を委託しているキューブ環境開発(株)により、大幅なV EとC Dを実施してもらい、ようやく工事請負契約の調印にたどり着き、起式式を行うことができました。今春にはにぎやかな子どもたちの声が新しいにじいろに響いていることでしょう。

職員の皆さんへの2023年（令和5年）のお願い

2008年9月設立の健翔会は15年目になります。スタッフの皆さんの力が蓄えられ、新しいことへのチャレンジができるようになりました。一念発起、意気揚々として、前途多難。良い事もあれば良くない事も起きます。しかし、ここで皆さんの仕事の中心に据えてほしいのは、

「失敗OK、常に前に進む」

「できない言い訳はしない」

「新しい提案を求められている」

ということです。

失敗は次に成功するためのノウハウですし、できない言い訳なんて聞きたくありません。どうしたらできるのかを考えて実行する、それが健翔会スピリッツです。

それと、「今年こそ頑張ろう」と、考えるのはやめましょう。「今のあなたは、明日のあなた」です。昨年頑張れなかったり、目標を達成できなかった人は、今年も頑張ることも目標に到達することもできません。

そこで皆さんへのお願いは、目標の絞り込みです。たくさんの目標の中から「達成したい」目標を1つか2つに絞り込んでください。残りは目標を達成した次の目標設定の時に考えます。

2つ目のお願いは、目標を文字にしてください。毎日その目標を目にする場所、例えばトイレの内ドアに貼ってください。毎日目標を見るのは恥ずかしい？かもしれませんが、そのくらいの覚悟で目標をがっちりつかんでください。「今年の目標は何だっけ？」と言うスタッフが誰もいなくなるように、日頃からすぐに言えるように、ずっと目標を考えているスタッフになりましょう。結果、皆さんの夢が叶う、というストーリーです。

今の健翔会は、ご利用者のニーズを追い風にした新規事業を進めてるように活動しています。それが成功するか否かはスタッフの皆さん一人一人の考え方だと思います。2023年も皆さんの力を合わせて前に進みたいですね。

おわりに

岸田首相が異次元の少子化対策を打ち出しました。①児童手当など経済支援、②子育て家庭への支援、③仕事と育児を両立する女性への支援です。否定ではないですが、同じことを繰り返していませんか？

問題は、子どもを産み育てられる若者の結婚が叶わないほど所得が低いことだと思います。子どもが生まれてからの支援ではなく、子どもを生める土台作りへの支援が必要だと思います。

若い人の所得を増やすこと、非正規雇用からの転換が課題だと考えます。

さて、どうする家康？

社会福祉法人健翔会

〒361-0007

埼玉県行田市小見 1141 番地 1

電話：048-554-8815

FAX：048-554-8814

URL：<https://kenschokai.net>

ブログ：<https://www.facebook.com/kenschokainet>